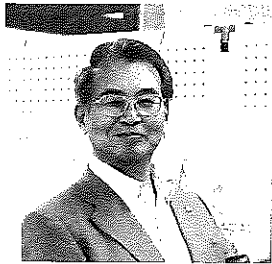


ごあいさつ



山形大学の機能強化に向けて 男女共同参画

山形大学長
山形大学男女共同参画推進委員会委員長
小山 清人

今日、大学を取り巻く情勢は、予算や大学規模の縮小、統合など大変厳しい状況下であり、山形大学も例外ではありません。一方で、イノベーションの担い手として、社会の大学に対する期待度はますます高まっております。山形大学も社会の期待に応えるべく、機能強化に向けて大学改革を加速する必要があります。

そのためには、すべての教職員が、性別にかかわらず個性と能力を発揮できること、教員・役職員の指導的立場や意思決定レベルにおける女性比率の向上、子育て・介護支援、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）等を目指し、男女共に働きやすい職場作りが求められます。

今年度は、私が学長としての初めての年となります。学長就任にあたり、新たに年度プランとして「Annual Plan」を作成いたしました。初年度に当たる今年度は今後の6年間の基礎固めとなる項目に重点を置き、達成目標をより高く設定しています。教職員全員が一丸となって取り組んで参りたいと考えています。

特に大学運営を支える総務の基本方針の中に、これまでの方針を継承して、「ワークライフバランスの実現による男女共同参画の推進」を明記し、さらに具体的なプランを立てました。

学長の下に設置された全学的な委員会である男女共同参画推進委員会も6年が経過しました。各委員には毎年、各部局における取組を評価し、次年度以降の計画の見直しをはじめ、学長・学部長と教職員との懇談会を開催するなど男女共同参画の推進役を果たしていただいています。

意識改革や制度改革を必要とする男女共同参画の取り組みは、決して一朝一夕に成果を上げるものではありませんが、地道な継続と共にその変化を加速させる努力が必要です。

本報告書が、教職員各位によって活用され、次年度以降の取り組みに活かされると共に、関係各方面の皆様方のご理解をいただく一助となることを願い、ますますのご協力を賜りたく宜しくお願いいたします。

平成27年3月30日